

NSユカモルH

速硬タイプセメント系セルフレベリング材

NS ユカモルHは速硬タイプの屋内床専用のセルフレベリング材です。硬化が早いため夏季4時間後、冬季6時間後には軽歩行が可能です。また、短期間の養生で次工程作業が可能となり、大幅な工期短縮が図れます。

特長

- 速硬タイプのため、施工約4時間後に、軽歩行が可能(夏季)で、大幅に工期を短縮できます。
- 速硬タイプで、強度発現が早く、含水率の低下も早いため、貼り床仕上げが夏季3日、冬季7日以上での短期間の養生で施工可能です。
- 通常のセルフレベリング材と同様、流し込み均すだけの簡単な施工です。
- 施工厚みは最低5mm～最大30mmまで可能です。

標準仕様

荷姿	適用部位	適用下地	適用仕上げ	標準調合	標準塗厚	標準施工面積
25kg/袋	内部床	コンクリート、PC板	長尺シート、Pタイル、カーペット、フローリング	清水 約6.0ℓ	5～30mm	約1.5m ² (10mm厚)

※露出仕上げ、塗り床仕上げ下地には使用しないでください。

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

性能

試験項目		試験結果	JASS 15 M-103 セルフレベリング材(セメント系)の品質規準
フロー値(cm)		24	19以上
凝結時間 (時間-分)	始発	1-40	0-45以上
	終結	2-00	20-00以下
圧縮強度(N/mm ²)		22	20以上
下地接着強度(N/mm ²)		2.1	0.7以上
表面接着強度(N/mm ²)		1.5	0.5以上
長さ変化(%)		0.03	0.12以下
耐衝撃性		割れおよびはがれなし	割れおよびはがれないこと

※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

日本化成(株)技術開発本部

施工法

下地の清掃

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で汚れを除去し、真空掃除機等で清掃してください。

※浮き・割れの原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。

※気泡発生および接着不良による浮きの原因となりますので、特に雨打たれ部分等のぜい弱部は、ポリッシャー等を用いて完全に除去してください。

※凹凸の著しい箇所はあらかじめモルタル等でつけ送りしてください。

※NS ユカモルHは僅かな隙間でも漏れやすいため、漏出のおそれのある箇所をモルタル等でシールしてください。

※改修工事で、旧仕上材や仕上材の接着剤が十分除去できない場合には、当社までお問い合わせください。

下地処理 (プライマー塗布)

NS ユカモルHの施工前日までに、施工面にNS高性能プライマー SL用の5倍希釈液を(NS高性能プライマー SL用1:清水4)を2回塗布(合計300g/m²)してください。1回目塗布後、NS高性能プライマー SL用が乳白色から透明になってから2回目を塗布してください。

※接着不良を防ぐため、プライマーは必ずNS高性能プライマー SL用を使用してください。

※プライマーの1回目と2回目の塗布間隔は、夏季1~2時間以上、冬季3~5時間以上が目安です。ただし、乾燥後できるだけ早い時期に2回目の塗布をおこなうか、埃等の付着がないよう養生してください。

※気泡発生の原因となりますので、希釈倍率を厳守し、左官刷毛等を用いてむらなく丁寧に塗布してください。

※安定した気泡抑止効果が得られないおそれがあるため、ゴムベラ、スプレー等による塗布は避けてください。

※NS高性能プライマー SL用が乾燥状態で次工程の作業に移ると表面にプライマー成分が浮き上がり、仕上り不良や接着不良等の原因となりますので、十分乾燥させてください。

練混ぜ

所定量の水を容器に入れ、NS ユカモルHを徐々に加えながら高速ミキサー、ハンドミキサー等でダマが残らないように十分に練り混ぜてください。

※強度低下の原因となりますので、標準配合を遵守してください。加水後の材料は夏季15分以内、冬季30分以内に使い切り、練足し、水を加えての練直しは避けてください。

※所定の流動性が得られない場合がありますので、高速回転(1000rpm以上)で十分練り混ぜてください。

※水量が多いと、強度低下およびレイタンス発生の原因となります。

打設

練り混ぜ後のNS ユカモルHを部屋の隅から順に広げるように打設しながら、レベルに合わせて土間ごとで軽く均してください。打継ぎは打設後15分以内を目安とし、塗厚を調整しながら、平滑に均してください。

※平坦に上げるために、速やかに連続して打設し、素早く仕上げてください。

※仕上り精度が悪くなるので、打設後15分以上経過しての手直しは避けてください。

※施工面積が大きい場合は、予め堰を設けて打設してください。軽歩行が可能となった時点で打ち継ぎ部分の不陸部分の凸部はハツリ取り調整してください。

養生

施工終了後4時間(冬季は6時間)は、直射日光、急激な乾燥、振動、衝撃等を避けてください。また、仕上材施工までの養生期間は夏季3日以上、冬季7日以上とし、硬化後、通気養生をおこなってください。

※表面のプラスチック収縮ひび割れやしわ(風紋)等の原因となりますので、施工後4~6時間は開口部の閉鎖等の養生をおこなってください。また、施工後24時間程度は、直射日光、風等による急乾燥を避けてください。

※施工当日(夏季4時間後、冬季6時間後)には、軽歩行が可能です。床表面は特に傷つきやすいので、十分に注意してください。

※仕上材までの工程間隔が1ヶ月以上かかる場合は、養生シート、合板等で養生をおこなってください。

※硬化後、気泡跡・レイタンス・不陸跡がないことを確認してください。必要に応じてポリッシャー等で処理してください。

※仕上材を施工をする場合、十分に乾燥(目安として含水率8%以下)していることを確認してください。乾燥の程度を測定するには、高周波静電容量式水分計(ケット社製 HI-500等)が便利です。簡易的に現場で乾燥度合いを確認するには、30cm角のビニールシートを置いて30分経過後、濡れ色を呈するか、呈さないかにより判断してください。



使用上の注意

■気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。

■本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。

■練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。

■使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。

■製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1012029
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/



製品問い合わせダイヤル ☎ **0120-974237**

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。